

第 6 回大学地域連携強化プラン懇話会

アーバンデザインセンター びわこ・くさつ（UDCBK）事業について

1

平成 28 年 8 月 23 日

草津市総合政策部草津未来研究所

シート右上のマークについて

R数

過去のシートを改定したものの
(数字は懇話会の回数)

数字

過去のシートの再掲
(数字は懇話会の回数)

全体の流れ

UDCBK運営体制（案）について

4

アーバンデザインについて

13

実施プログラム

学習・交流

21

調査研究

37

社会実験

40

情報発信

47

今後のスケジュール等

49

①UDCBKの運営体制（案）

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ

(監理運営) 運営委員会

構成団体

委員長
(大学関係者)

副委員長
(2名)
・草津市副市長
・(仮称)UDCBK
センター長

委員

計
15名

- ・まちづくり協議会 (1名)
- ・草津商工会議所 (1名)
- ・パナソニック アプライアンス社 (1名)
- ・滋賀銀行 (1名)
- ・市民代表 (1名)

民

- ・立命館大学 滋賀大学等 (4名)

学

- ・草津市 (1名)
- ・草津市コミュニティ事業団 (1名)

公

UDCBK運営スタッフ

センター長

各プログラムを統括し、全体のアーバンデザインについて指示調整等を行う

副センター長

プロジェクトアドバイザー

プログラムごとに専門的観点から指導・助言を行う。

シニアディレクター

建築、公共空間、アート、祭り、スポーツ、産業技術等、各担当における企画・調整・連携を図りながら、事業執行を担う。

ディレクター

運営サポーター

アーバンデザインスクール修了者のうち、希望者はスタッフとして運営に参画

各プログラム (セミナー、ワークショップ、社会実験等)

② UDCBK運営委員会

- 平成28年10月のアーバンデザインセンター開設と同時に任意団体「UDCBK運営委員会」を設置
 - 運営委員会に加盟している法人は構成団体という。またアーバンデザインセンターのプロジェクト等実施事業毎に連携・協力する団体を協力団体という。
- UDCBK運営委員会はアーバンデザインセンター事業の下記の運営全体の基本事項について市に助言
 - 運営全体の基本事項
 - 年間スケジュール・年間実施プログラムへの助言
 - UDCBK主催事業、構成団体主催事業、および他団体との協働事業等の提案
 - 情報発信等広報戦略について
 - UDCBK事業の評価
 - 平成30年度以降に運営委員会をベースに草津市を含む各種補助金・助成金・委託事業等の契約行為の受け皿として一般社団法人等法人化の検討

運営委員会委員名簿（案）

秘密：懇話会限り
（投影のみ）

R5

③ UDCBK運営スタッフ

- アーバンデザインセンター事業を迅速、且つ円滑に行うため、通常の執行組織として、（仮称）UDCBK運営スタッフを置き、運営委員会の方針に従い、現場で判断
- スタッフには、市の正規職員、臨時職員の2名を専従、市の委託研究員を非常勤とし、専従職員の労働条件を確保しつつ常時2名以上の常勤体制を確保
 - 2名以上確保できない場合は本庁未来研究所より応援職員を派遣

運営スタッフ名簿（案）

秘密：懇話会限り
（投影のみ）

R5

④ 拠点（事務所）利用について

オープンスペース以外の事務所スペースを利用できる条件

- 包括協定締結大学の教員、学生などが草津市をフィールドにした調査研究、社会実験等を行う場合の活動拠点として利用。
 - この場合、1週間前を目途に日時の連絡をお願いする。
- 運営委員会構成団体が南草津駅の拠点（出張所、分室等）として利用を希望する場合、利用可能とする。
 - この場合、駐在する曜日、時間の特定をお願いする。
- 後述アーバンデザインスクール修了者がセミナー等の企画運営を行う場合
 - この場合、拠点利用時に利用者対応をお願いする場合がある。

拠点（事務所）利用一覧（案）

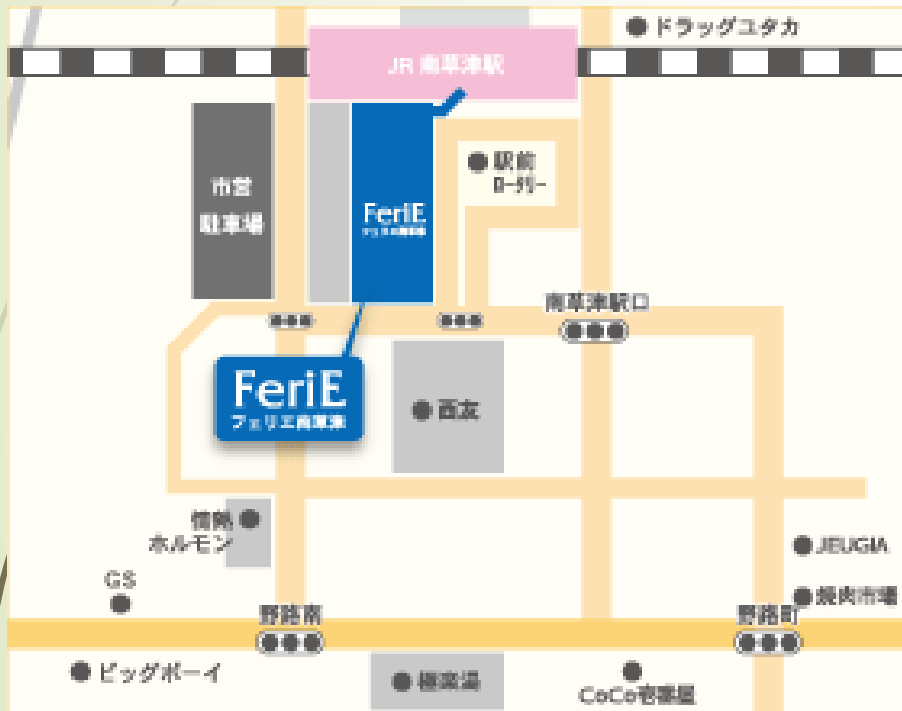
No	対象	所属	役割	備考
1	包括協定締結大学の教員・学生	包括協定締結大学の教員・学生	包括協定締結大学の教員・学生が草津市内をフィールドにした調査研究・社会実験を行う際の活動拠点として利用。 なお、利用する際は事前に連絡が必要	非常駐①
2	構成団体職員	構成団体のうち、拠点を南草津駅前の出張所、分室等に利用を希望する団体	希望する団体はUDCBKの理念に合致している限り、それぞれの構成団体の活動を行える（運営委員会による承認が必要）。 ただし、駐在する曜日・時間帯は固定とし、スタッフ繁忙時や不在時に簡単な来客対応を行えること。	非常駐②
3	運営サポーター	アーバンデザインスクール修了者	UDCBKのセミナー等の企画会議に参加できる。自ら企画し、実施することも可能。 また希望者にはスタッフ繁忙時や不在時に簡単な来客対応をお願いします。	不定期

* 非常駐① : 利用する曜日・時間を定めず

* 非常駐② : 利用する曜日・時間を定めるほか、スタッフ繁忙時や不在時に来客対応をお願いします。

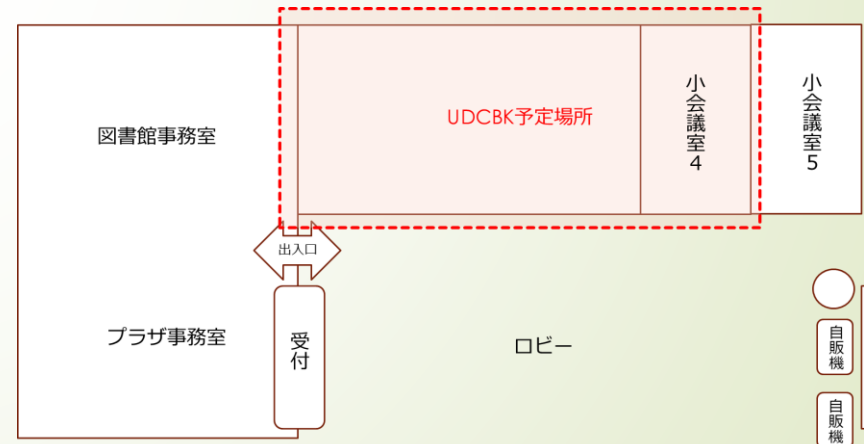
UDCBK開設時間

平成28年10月15日（土）午前10時オープン！



【開室曜日・時間】（案）

火・木・土 午前10時から午後6時45分
 水・金 午前11時30分から午後8時15分
 （日・月・祝（祝日が月曜の場合は火曜日休室））



フェリエ5階 市民交流プラザ内

全体の流れ

UDCBK運営体制（案）について

4

アーバンデザインについて

13

実施プログラム

学習・交流

21

調査研究

37

社会実験

40

情報発信

47

今後のスケジュール等

49

アーバンデザインとは？

- ▶ 市街地だけでなく、周りも
 - ▶ 都市空間（アーバンスペース）は、市街地だけでなく、その周辺の田園や緑地も、都市空間を支える重要な構成要素です。
- ▶ 今だけではなく、過去も未来も、そして人の活動も
 - ▶ その空間には歴史があり、地域の課題があり、人々の活動があり、そして、未来への可能性が広がっています。
- ▶ いろいろな未来を見据え、都市空間をデザイン
 - ▶ アーバンデザインとは、地域の歴史や現状を知り、また人々が互いを知り合い、未来のまちのイメージについてみんなで話し合い、色々な未来があることを共有します。そうして、未来を創造するための新たな活動を多く産みだし、人々のニーズにあった都市空間をデザインすることです。

Urban Planning から Urban design へ

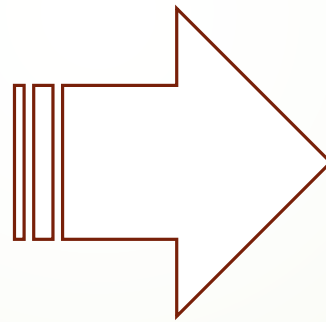
アーバン (urban)

英語で「都会的な」、「都市的な」という意味

プラン (Plan)

“計画”という意味を表わす最も一般的な語

図面、**平面図**、地図



デザイン (design)

語源は“計画を記号に表す”という意味のラテン語designare

デザインとは、ある問題を解決するために思考・概念の組み立てを行い、それを**様々な媒体に応じて表現**すること

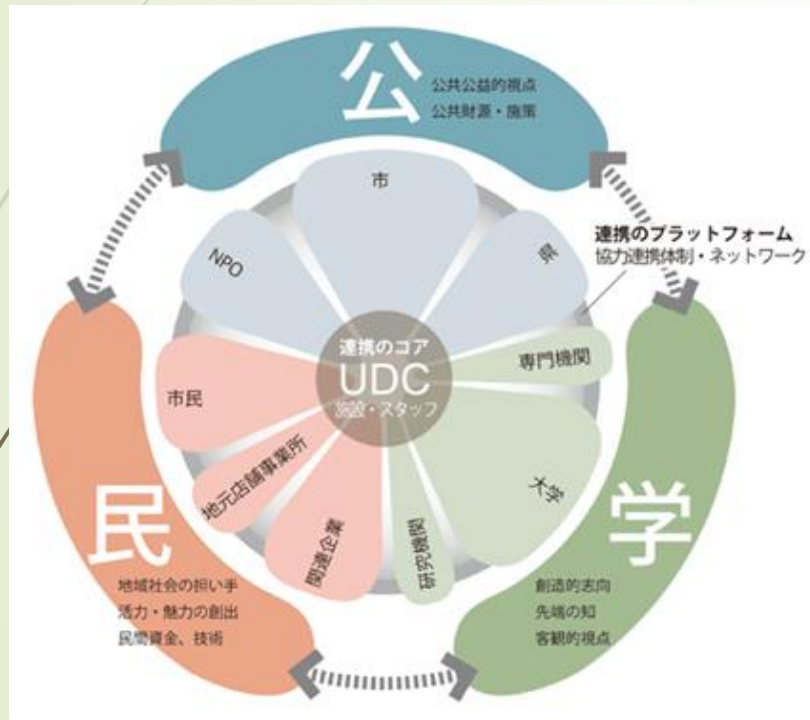
平面的で静止画的な都市計画から

立体的で時間と空間を意識した動画的なアーバンデザインへ

アーバンデザインを生み出す条件

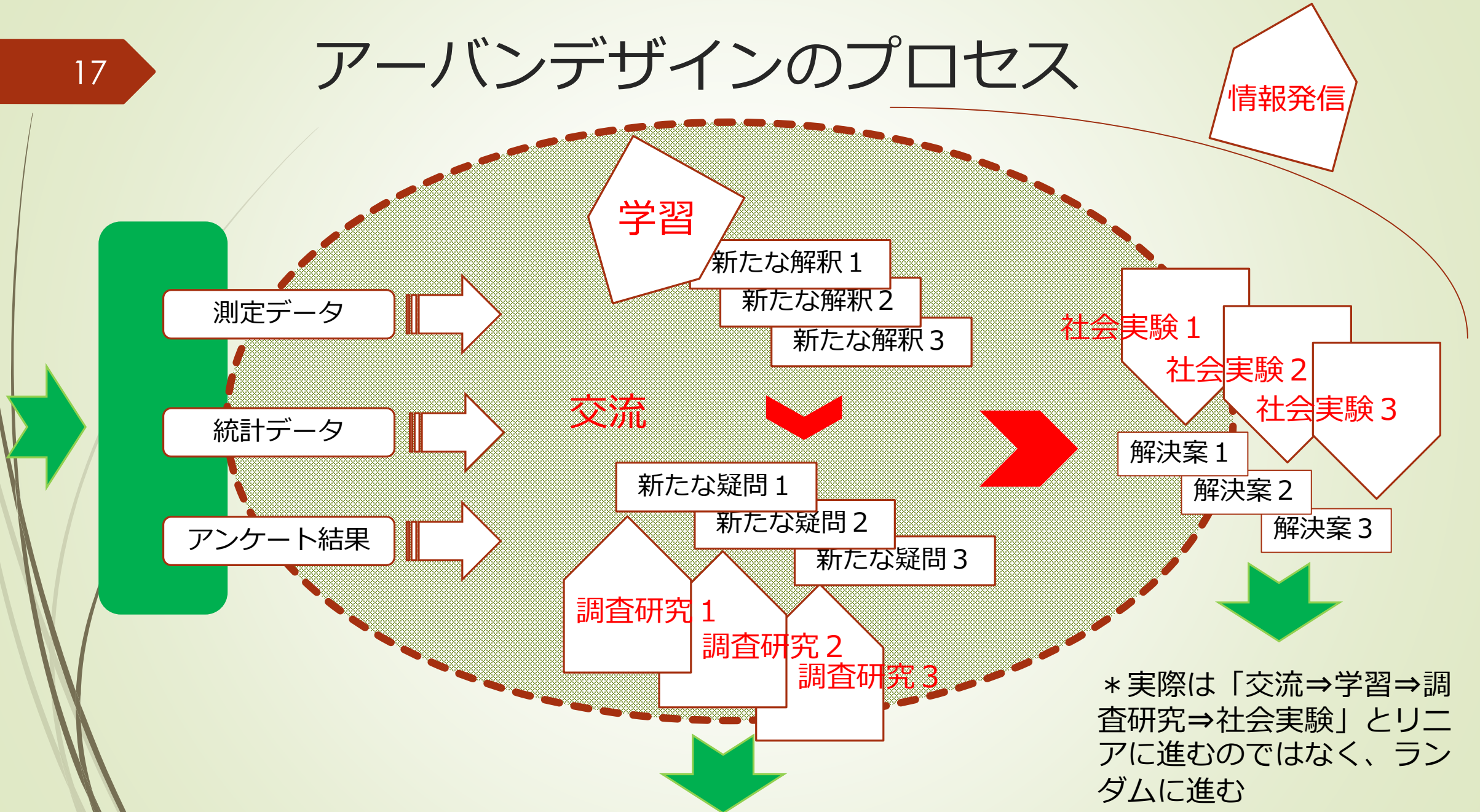
- その街に少しでも興味関心がある人であれば誰でもが気軽に自由に話し合える場所があること
- 地域の政策や課題について学習したい人、または自分の考えを伝えたい人が容易に出会い、学習する場所があること
- その街で生活を営んでいる住民が、街に愛着を持ち、共同体に属して生活していると実感できるさまざまな活動があること
- アーバンデザインを考えて、都市計画を行うことができる専門家がいること
- 専門家と市民を繋ぐ媒介の専門家と地域の専門家がいること

アーバンデザインセンター（UDC）とは？



- 複合化した地域の課題に対して、公・民・学のそれぞれの立場で活動する様々な個人や組織が、様々な場面で臨機応変につながり、協働して解決に取り組むコラボレーションを進めるためのプラットフォーム
- 「大学」や専門家は、新たな技術や理論を積極的にまちに応用すると共に、長期的・客観的視点から見たコラボレーションの方向づけをする上で、重要な役割を担う。
- 公・民・学のマス・コラボレーションを地域主体で実践し、まちを創造する拠点

アーバンデザインのプロセス



* 実際は「交流⇒学習⇒調査研究⇒社会実験」とリニアに進むのではなく、ランダムに進む

アーバンデザインセンターの目標

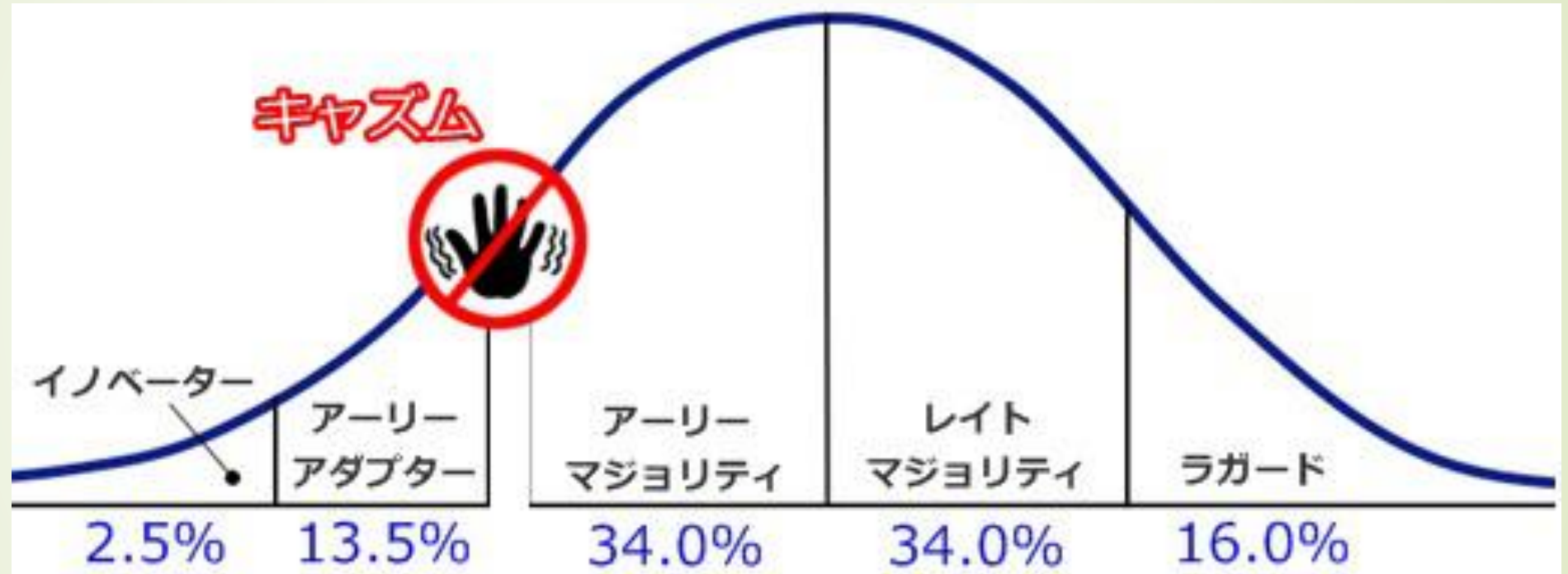
いろいろな未来のまちのイメージ（選択肢）の展示室

- ▶ 行政や開発業者等が政策や開発などの事業を検討する際、**ここに**くれば、公式、非公式を問わず、アーバンデザインに必要な情報が入手できる、
- ▶ さらに詳しい情報が欲しい場合、**ここに**頼めば、その事柄に関心のある市民や専門家を集め、アーバンデザインに関する意見交換の場を作ることができる、
- ▶ **ここに**いれば、すぐに地域の人たちがどのような考えに基づいて、具体的な活動をしているかがわかる、
- ▶ **ここ**があれば、新たな政策や開発を行う際のアーバンデザインについて、科学的知識を踏まえることができ、その結果として草津にふさわしい街並を促進することができる。

(参考) UDCBKのターゲット

未来先取

現実対応



マーケティングis.jp

「イノベーター理論とキャズム理論」 <http://marketingis.jp/archives/2365>

アーバンデザインセンター
のターゲット

従来の行政のターゲット

全体の流れ

	UDCBK運営体制（案）について	4
	アーバンデザインについて	13
実施プログラム	学習・交流	21
	調査研究	37
	社会実験	40
	情報発信	47
	今後のスケジュール等	49

学習・交流

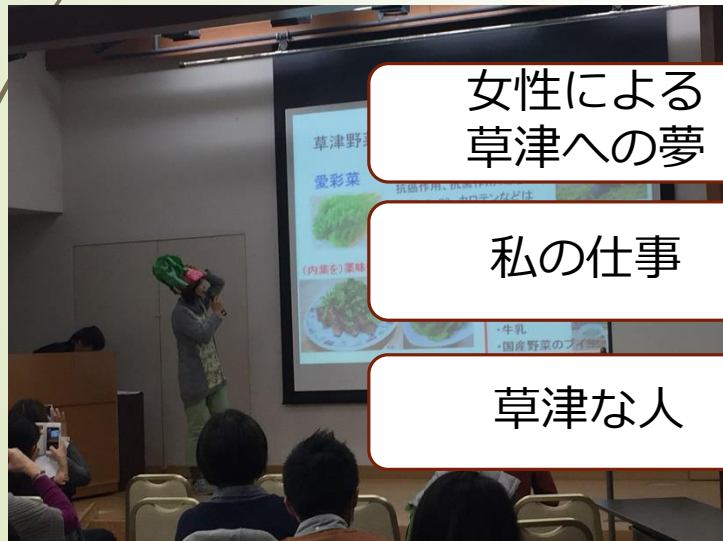
	機能	内容	回数
アーバンデザイン スクール	学習	UDCBKの運営を担う人材の育成を目的に、UDC運営に必要な知識等の取得	5回
未来創造セミナー	交流	多様な人々の交流を目的に草津の歴史や草津に住む人々のライフストーリー等を語ってもらう場	4~6
	連携	産学公民連携により、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、社会実験等に接続	4~6
その他イベント	学習・交流	環境月間や児童虐待月間等オープンスペースの展示に合わせたセミナーや防災おにぎりデー等	4~6

合計 20回予定

未来創造セミナー（交流）

▶ 未来創造セミナー（交流中心）

- ▶ 目的 草津には、昔からずっと住んでいる人、就職や結婚、出産や進学、海外からの人、またはリタイヤ等を機に他から草津に移ってきた人、通勤・通学や社会活動などで草津に通う人などいろいろな人が集っています。そのような人たちが自らの人生（ライフ・ストーリー）を語り、そして草津の現在、未来への思いを知り合い、参加者がお互いを理解しあう交流の場を提供します。
- ▶ 対象者 草津に関心のある人々
- ▶ 人数 100人程度（テーマにより可変）
- ▶ 回数 月1回（10月から6回）



女性による 草津への夢

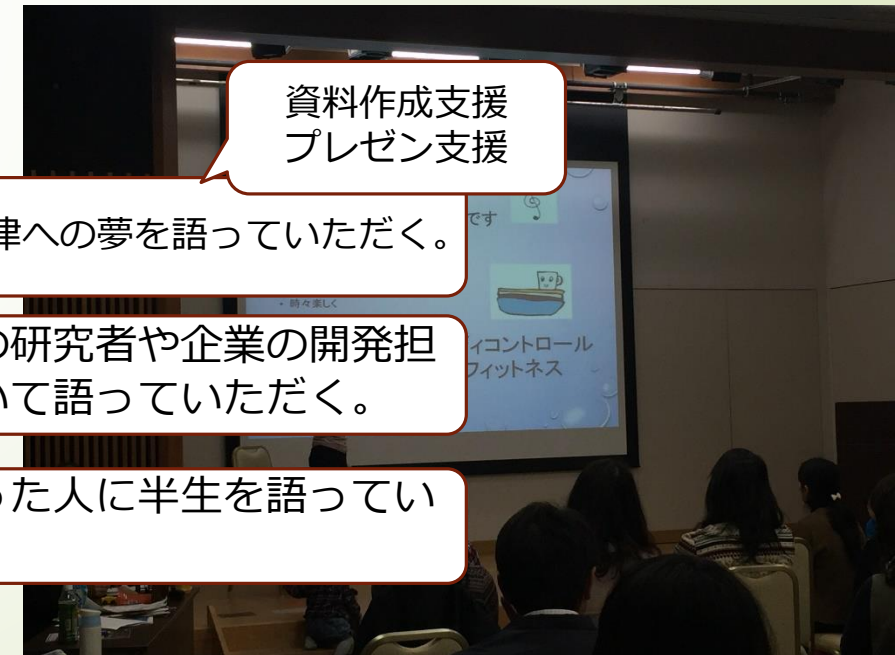
草津市在住・在勤の女性に草津への夢を語っていただく。

私の仕事

草津市在勤の人々（大学の研究者や企業の開発担当等）に自分の仕事について語っていただく。

草津な人

草津で生まれ、草津で育った人に半生を語っていただく。



資料作成支援 プレゼン支援

未来創造セミナー（交流）

- ▶ 草津市国際交流協会（KIFA）との協働事業
- ▶ 外国人の居場所づくり
- ▶ テーマ
 - ▶ 外国人による発表
 - ▶ 「在住外国人のライフストーリー」
 - ▶ 「日本語にない私たちの言葉、私たちの言葉にない日本語」
 - ▶ その他 外国人による日本語スピーチ
 - ▶ ワークショップ
 - ▶ あるトラブルの場面を設定し、対応策について協議することで、文化や経験による発想の違いを理解しあう。
 - ▶ 発表 グループの結論のほか、文化的な違いについても発表
- ▶ 2～3回実施→2017/1/15多文化共生フェスティバルにて成果発表

その他

- ▶ 日本語サロン（草津市国際交流協会）
 - ▶ 平日午前、及び土曜日午前 日本語サロンを実施
 - ▶ オープンスペースを利用（約15人程度、いすなど気にしなければ30人は可）

- ▶ みなくさまつり
 - ▶ 開催期間前から、草津野菜をモチーフにした仮装衣装制作ワークショップ、歌と踊りのワークショップを開催
 - ▶ 当日、草津野菜の仮装でステージ参加等検討

未来創造セミナー（連携）

- ▶ 未来創造セミナー（連携中心）
 - ▶ 目的 それぞれが語った未来のイメージを実現するために公民学が知恵を出し合い、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、企画を立案、実現に向けて社会実験の実施や既存の団体等に切れ目なく接続します。
 - ▶ 対象者 草津に関心のある人々
 - ▶ 人数 30人程度
 - ▶ 回数 2ヶ月に1回程度（6回）

(参考) 平成28年度第1回未来創造セミナー

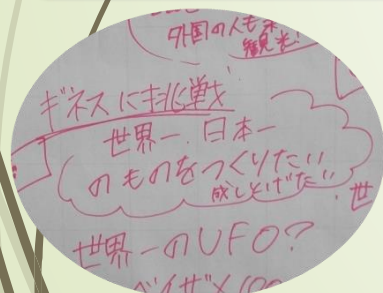
目指せ、世界一！

草津に
世界中の視線集めたいよね！

草津から
愛と夢いっぱいふりまきたいよね！

日時 平成28年6月4日 土 18:15-20:45

場所 市民交流プラザ 大会議室
草津市野路一丁目15番5号（フェリエ南草津5階）



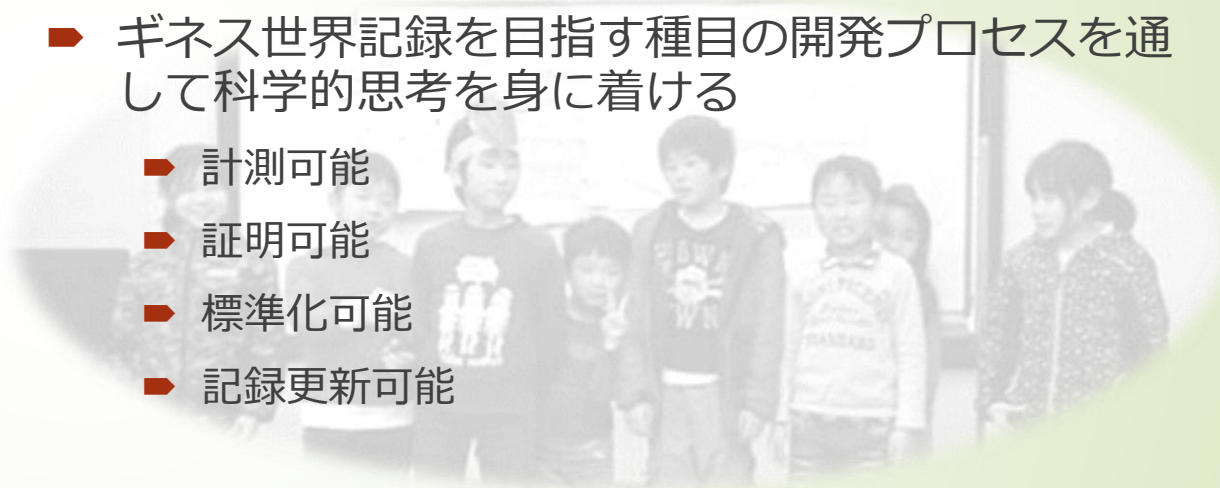
昨年度実施した第6回の未来創造セミナーでは、子どもたちから「ギネスに挑戦 世界一日本一のものをつくりたい!! 成し遂げたい!!」という提案がありました。2年前に「宝塚1万人のラインダンス」でギネス世界一を達成した宝塚市でも子どもの提案から始まりました。宝塚市ができたことがこの草津市にできないはずはありません。いや、むしろもっとすごいことができるはずです！

みんなで世界一を目指し、世界中の視線を草津に集め、そして草津から愛と夢をいっぱいふりまきましょう！

- 子どもたちの夢の実現するため、市民、企業、大学等が連携する場をつくる
- ギネス世界記録を目指す種目の開発プロセスを通して科学的思考を身に着ける

- 計測可能
- 証明可能
- 標準化可能
- 記録更新可能

- 未来創造セミナーでは種目を検討するまでであり、それ以降はシームレスに実行団体に繋げる。



(参考) 平成28年度第1回未来創造セミナー実績

草津野菜をモチーフにした仮装での世界一挑戦に決定！

	男	女	合計
大人	17	29	46
子ども	5	11	16
合計	22	40	62

(回答数：27人)

問い	非常に有意義	有意義	まあまあ	物足りない	非常に物足りない	合計
運営等全般	13	13	1	0	0	27
内容	15	12	0	0	0	27

問い	大いに活かせる	いくらか活かせる	ほとんど活かさない	合計
今後の活動	16	11	0	27

問い	適切	長い	短い	合計
時間	22	4	1	27



(参考) 平成28年度第2回未来創造セミナー

▶ 目的

平成28年度第1回の未来創造セミナーでは、昨年度の第6回未来創造セミナーでの子どもたちの提案「ギネスに挑戦 世界一日本一のものをつくりたい!! 成し遂げたい!!」をテーマにセミナーを開催し、「愛彩菜」や「草津メロン」や「うばが餅」など草津名物をモチーフに、「出会いの街くさつ」や「三彩菜」の歌を使った種目でギネスに挑戦することになりました。今回は草津市在住のイラストレーター まちよさんと一緒に草津名物をモチーフにしたコスチュームをデザインします。

▶ テーマ 草津名物でギネスに挑戦!

～まちよと一緒にみんなでデザイン!～

▶ 開催日時：平成28年7月9日(土曜) 10時から12時

▶ 開催場所：市民交流プラザ 中会議室

▶ 定員：40名程度

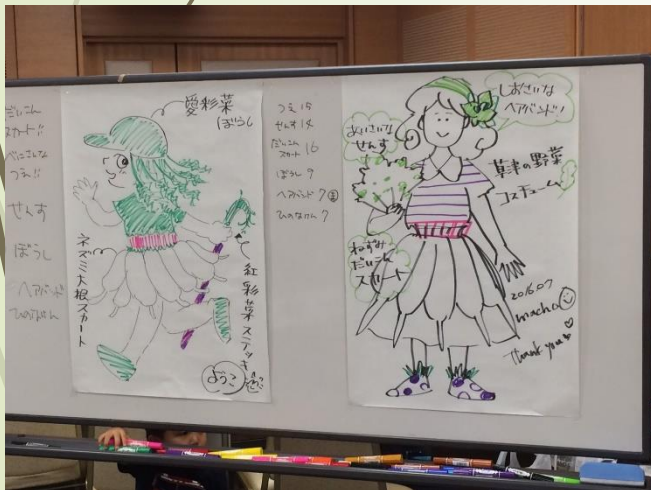
▶ 講師：イラストレーター おやま ゆかこ さん



(参考) 平成28年度第2回未来創造セミナー

草津野菜をモチーフにしたコスチュームデザイン決定！

	男	女	合計
大人	2	18	20
子ども	7	5	12
合計	9	23	32



(回答数：12人)

問い	非常に有意義	有意義	まあまあ	物足りない	非常に物足りない	合計
運営等全般	7	5	0	0	0	12
内容	6	5	0	0	0	11 (無回答1)
問い	大いに活かせる		いづらか活かせる		ほとんど活かさない	合計
今後の活動	6		6		0	12
問い	適切		長い		短い	合計
時間	11		0		1	12

(参考) 平成28年度第3回未来創造セミナー

▶ 目的

草津市は健幸都市を目指しています。健幸は、「食べて、動いて、笑って、繋がって、健やかに、幸せに！」

草津市の施設野菜の生産量は県内一！ しかし、草津市の野菜摂取量は全国平均以下です。そこで、未来創造セミナー夏休みスペシャルとして、未就園児と保護者を対象にくさつ野菜を知り、いっぱい食べてもらうため、くさつ野菜をモチーフにしたコスチュームを制作し、みんなで歌って、踊ります。

▶ テーマ

「くさつ野菜に変身！みんなで歌って踊って 目指せ、世界一！」

▶ 開催日時：平成28年8月24日（水曜） 10時から12時

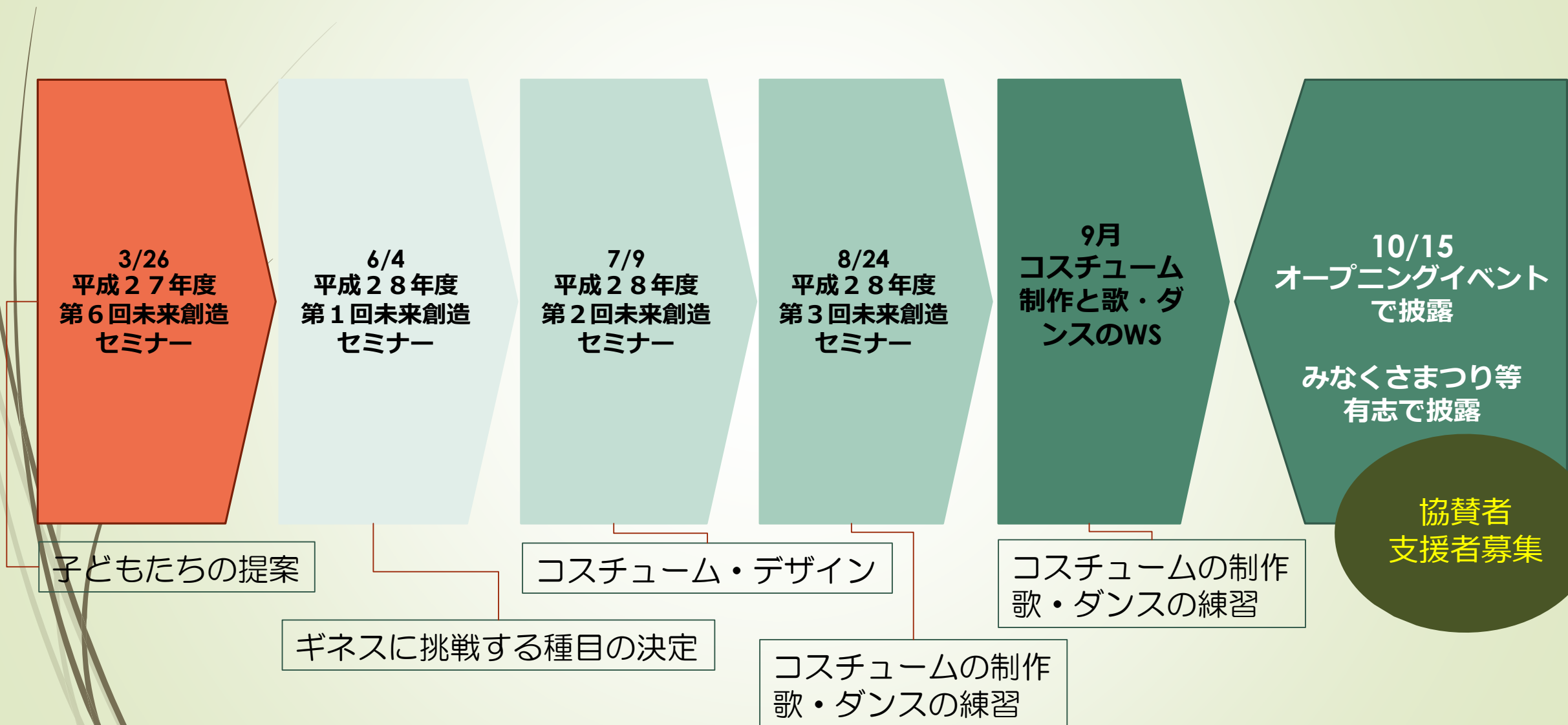
▶ 開催場所：市民交流プラザ 大会議室

▶ 定員：40名程度

▶ 講師：堀江 尚子 さん



(参考) セミナーのシリーズ化の試み



アーバンデザインスクール（学習）

▶ 目的

専門家の専門的な説明を市民にわかるように伝えたり、外国の人の文化や習慣、宗教的な背景を理解し、日本人に伝えたり、また市の政策を理解し、顕在化している問題の背後に潜む課題を専門家に伝える媒介の専門家、地域の専門家の育成を目的とする。

▶ 実施要領

- ▶ 回数： 4～5回を1クール／半期として、年間2クール行う。
- ▶ 媒介の専門家コース、地域の専門家コースをそれぞれ1クール実施する。
- ▶ 定員： 20名程度（全回出席できること）
オブザーバ参加を認める。
- ▶ その他：今年度については半期のみであること、アーバンデザインセンター開設初年度であることから、「アーバンデザインセンターを知る」をテーマとする。

アーバンデザインスクール（学習）

■ カリキュラム（案）

- 媒介の専門家、地域の専門家として必要なスキル、及び知識を取得する。
- 講師陣は可能な限り包括協定締結 5 大学教員、地元の人、及び市役所職員とする。

■ 媒介の専門家コース

- 専門家と市民を媒介するために必要な「コミュニケーション」「ファシリテーション」「プレゼンテーション」「コーディネーション」「コラボレーション」能力等の取得を目指す。

■ 地域の専門家コース

- 「アーバンデザイン」「子育て政策」「食と健康」「スポーツと健康」「産業振興」等をテーマに学ぶ。

アーバンデザインスクール（学習）

- ▶ 今年度のアーバンデザインスクール
 - ▶ テーマ ; 「アーバンデザインセンターを知る」
 - ▶ 実施回数 ; 5回
 - ▶ 定員 ; 20名（全回出席できること、なお、各回にオブザーバ参加を認める）
 - ▶ 開催日時（予定）
 - ▶ 平成28年11月から平成29年3月までの第2土曜日 午前10時から正午（ただし、2月のみ第3土曜日）
 - ▶ 第1回 平成28年11月12日（土）
 - ▶ 第2回 平成28年12月10日（土）
 - ▶ 第3回 平成29年1月14日（土）
 - ▶ 第4回 平成29年2月18日（土）
 - ▶ 第5回 平成29年3月11日（土）

アーバンデザインスクール（学習）

- ▶ 各回のテーマ（案）
 - ▶ 第1回 「アーバンデザインセンターとは？」
信時 正人氏（立命館大学デザイン科学研究センター客員研究員、追手門学院大学客員教授）
 - ▶ 第2回 「松山アーバンデザインセンターの運営事例について」
松本 啓治氏（愛媛大学防災情報研究センター アーバンデザイン研究部門 教授）
 - ▶ 第3回 「南草津駅の商業集積について 草津駅との比較」
市職員（予定）
 - ▶ 第4回 「UDCBKの検討経緯について」
溝内 辰夫（草津市総合政策部草津未来研究所参事）
 - ▶ 第5回 「これらかのUDCBKについて」
及川 清昭氏（UDCBKセンター長、立命館大学理工学部教授）
- ▶ 各回コーディネーター 肥塚 浩氏（立命館大学）

全体の流れ

	UDCBK運営体制（案）について	4
	アーバンデザインについて	13
実施プログラム	学習・交流	21
	調査研究	37
	社会実験	40
	情報発信	47
	今後のスケジュール等	49

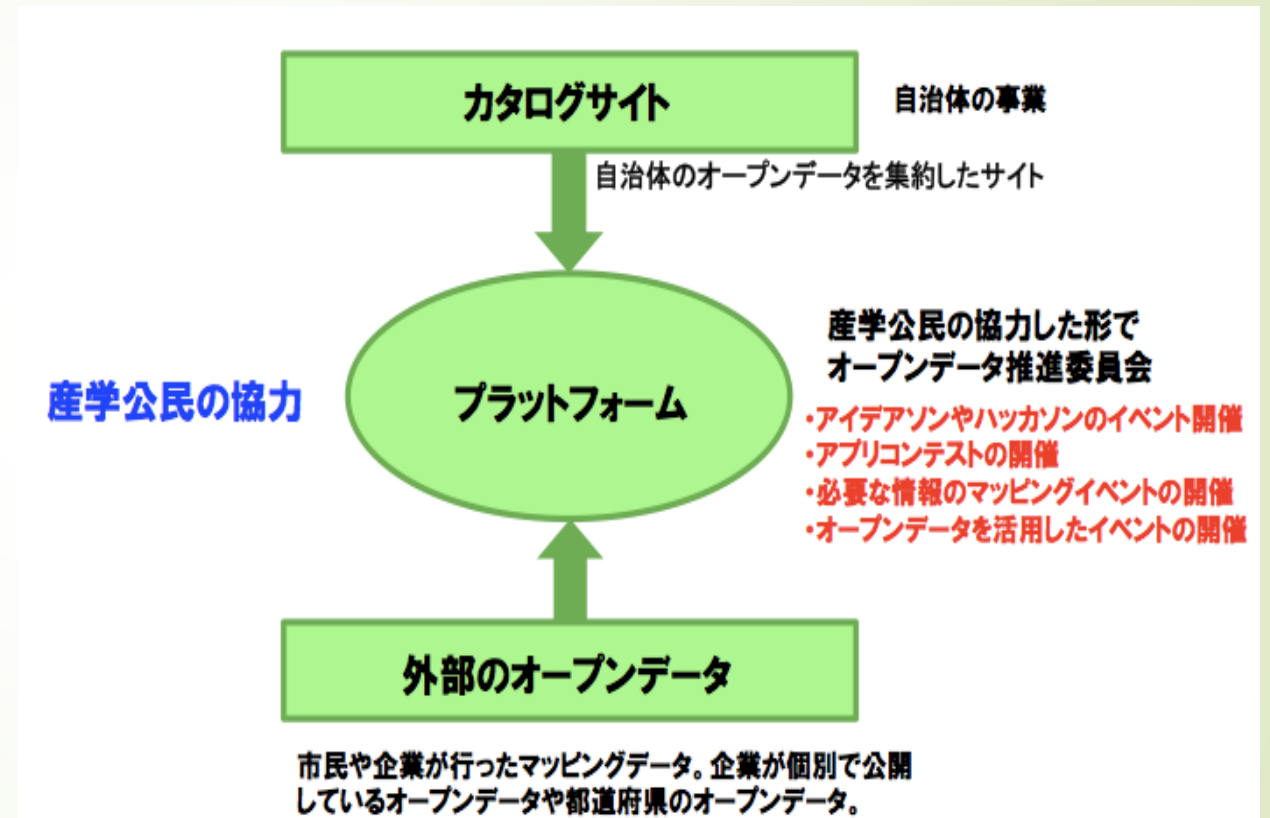
調査研究（案）

- UDC構成団体による自由な調査研究
- UDCをリサーチ拠点として活用
- 検討結果等について市民と意見交換

- オープンデータ利活用手法の調査研究
 - 市所有情報のオープンデータ化に呼応し、オープンデータをまちづくりに活かすための手法を検討
 - アイデアソン、ハッカソンの実施
 - スマートデバイスを利用した地域情報の収集手法の検討
- 都市デザインスタジオ
 - 学生の自由な発想のもと、未来の草津の都市デザインについて調査研究

(参考) 草津市オープンデータ利活用促進のための調査研究

- ▶ アーバンデザインを考える前提として、地域の最新の状況を把握しておく必要がある。
- ▶ そのための社会インフラとしてオープンデータの利活用は重要である。
- ▶ また行政の持つ情報だけではなく、市民の日常の活動の情報のみならず市民の日々の活動により直接間接に更新される情報も収集する必要がある。



東京大学主催コンテスト「チャレンジ！オープンガバナンス2016」に応募！

全体の流れ

	UDCBK運営体制（案）について	4
	アーバンデザインについて	13
実施プログラム	学習・交流	21
	調査研究	37
	社会実験	40
	情報発信	47
	今後のスケジュール等	49

社会実験推進事業

- 包括協定締結大学を対象とした「アーバンデザイン」「食と農」「健康」「子育て」「産業振興」をテーマにした社会実験の委託事業
 - 5事業の実施予定（一件あたり40～50万円を想定）
 - 1大学1事業を原則とする
 - テーマについては市からリストを提示し、協議の上、決定する。
 - 平成28年度は10月からの6か月とする。
- 委託条件
 - UDCを活用した社会実験とすること
 - 市民、または市民グループと協働すること
 - 中間報告、最終報告の2回、市民を対象とした報告会を開催すること

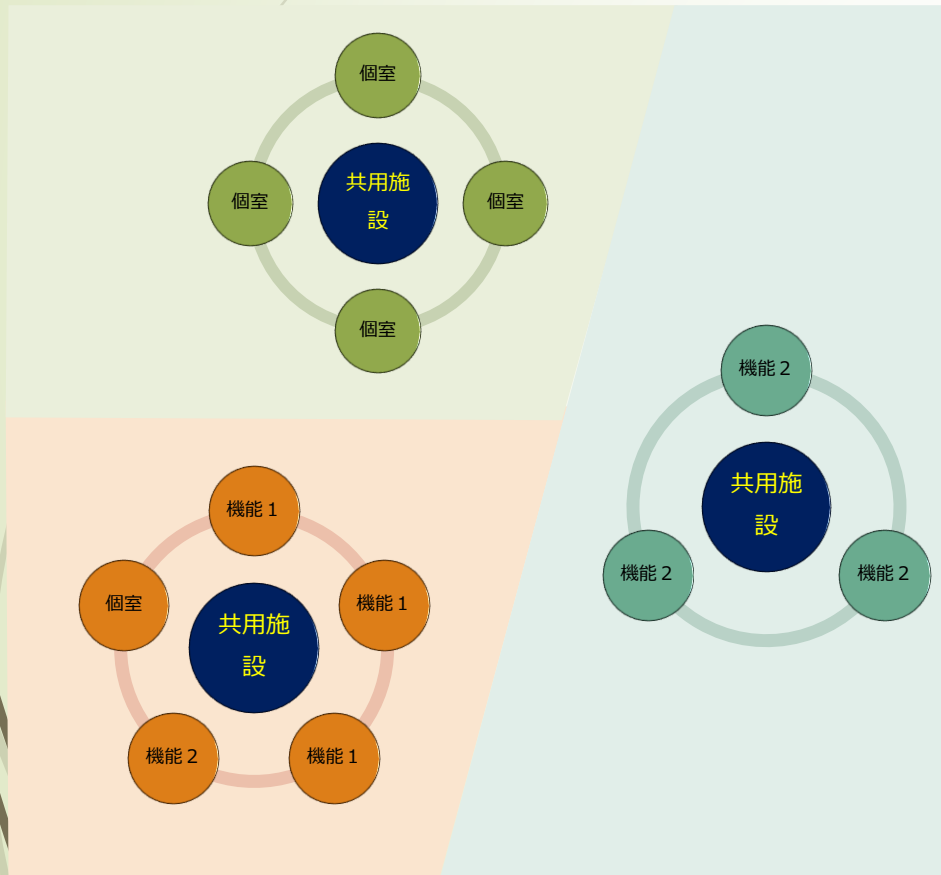
現況

- ▶ 5大学のうち、4大学から8提案あり（成安造形大学は辞退）
- ▶ 調整の結果、下記の6提案に絞り、内容調整中。

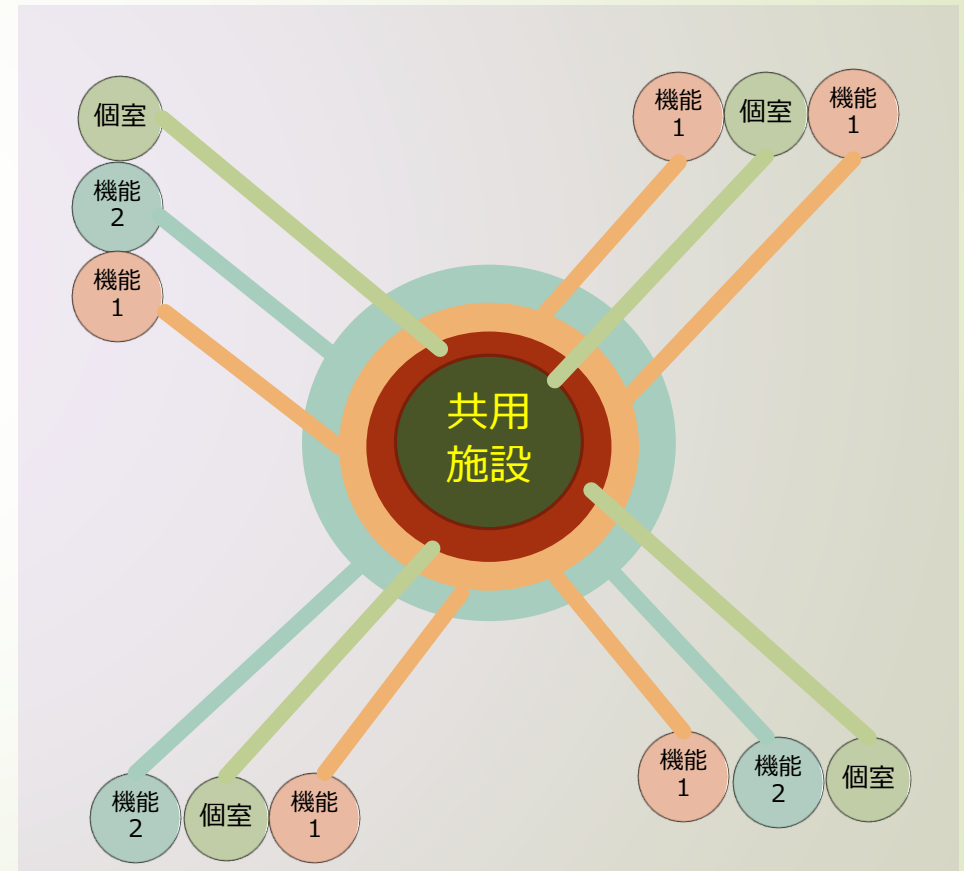
No	大学名	提案
1	立命館大学	空き家・空き部屋を活用した多機能シェア型施設の検討
2	滋賀大学	避難生活時の火や水が入手困難な状況に適応するための映像教育プログラムの開発
3		親子遊び活動事業（親子のスキンシップ）
4	滋賀県立大学	生物多様性を理解するゲームの開発
5		市民参加によるUDCBKロゴデザイン
6	京都橘大学	たちばな健康体操の普及啓発

(参考) 空き家・空き部屋を活用した 多機能シェア型施設の検討

単一機能フルセット型施設



多機能シェア型施設



(参考) 避難生活時の火や水が入手困難な状況に適応するための映像教育プログラムの開発

- 被災者が避難生活時の火や水が入手困難な状況に陥った際、自力で数日過ごすために必要な基本的スキルを身に着けるための映像教育プログラムを開発する。
 - 滋賀大学石山キャンパス内で防災キャンプを実施
 - 参加者に種火と1人6リットルの水を支給し、所定の時間内に夕食を作るミッション
 - レトルト食品や缶詰等被災時に調達可能な食材と一般に手に入ると考えられる道具類を準備し、参加した市民に自由に利活用していただく。
 - その様子を映像に記録する
 - 参加者間で競い合うわけではないので、家族間の協力、またリタイヤも自由
 - 映像教育プログラムの開発
 - 市民とのキャンプ経験をもとに、火や水が入手困難な状況に陥った際、自力で数日過ごすために必要な基本的スキルを身に着けるための映像教育プログラムを開発する
 - 必要に応じてワークショップを実施する
 - 開発したプログラムを試行し、映像に記録する。

(参考) 生物多様性の考え方を理解するための ゲーム開発

- 今後、アーバンデザインを検討する上で、草津市の生物多様性の状況を知る必要がある。またアーバンデザインセンターの運営も適応的管理を目指していることから、生物多様性の考え方を理解するためのゲームを開発する。
 - 草津市の生息する生物について知る。
 - 座学とフィールド調査
 - ゲームの開発
 - 草津市に生息する生物の特徴を理解し、それぞれの評価カードを作成する。
 - 複数のグループに分かれ、各グループで評価指標を作成し、それぞれの生物について点数化を行う。
 - ゲームの試行
 - グループ対抗で、あるエリアの生物探しゲームを行う。
 - 見つけた生物は位置情報と画像を記録し、地図上にマッピングを行う。
 - それぞれの作成した評価指標に基づき、点数を計算する。

全体の流れ

	UDCBK運営体制（案）について	4
	アーバンデザインについて	13
実施プログラム	学習・交流	21
	調査研究	37
	社会実験	40
	情報発信	47
	今後のスケジュール等	49

情報発信

専用ブログをベースに、それぞれのメディア特性に合わせた情報発信

紙媒体

- ・パンフレット
- ・リーフレット
- ・フライヤー

専用ブログの作成

リンク

メルマガ

SNS

拡散

エフエム局

BBC

ホームページ



全体の流れ

	UDCBK運営体制（案）について	4
	アーバンデザインについて	13
実施プログラム	学習・交流	21
	調査研究	37
	社会実験	40
	情報発信	47
	今後のスケジュール等	49

今後の予定

	6	7	8	9	10	11
行事					4日 記者会見 15日 開設イベント 15日 広報誌掲載	
運営WS		7/8.15	8/23			
社会実験	5大学と協議し社会実験のテーマを決定				社会実験の実施（半年間）	
未来創造 セミナー	6/4	7/9	8/24		毎月2回程度実施	
工事				調達	内装工事	

(仮称) UD CBKの将来構想 (案)

	平成28年10月	平成30年度	平成32年度	将来構想
活動地域	南草津駅周辺	南草津駅周辺	草津市内全域	湖南地域
設立年月	2016年10月	2018年度		
組織形態	任意団体	一般社団法人	一般社団法人	一般社団法人
公	草津市	草津市	草津市、滋賀県	草津市、周辺市、滋賀県
民	パナソニック社 滋賀銀行 草津商工会議所 草津市コミュニティ事業団 まちづくり協議会	+α	+α	湖南地域の他自治体のUDC設立・運営支援を行い、UDCびわこネットワークの形成を目指す。
学	立命館大学、滋賀大学、 京都橘大学、成安造形大学 滋賀県立大学	+ 龍谷大学等	+α	
スタッフ	市職員1名 非常駐2名 事務1名	常駐4名(市職員含む) 非常駐6名 受付1名 事務1名	常駐4名(市職員含む) 非常駐6名 受付1名 事務1名	
施設	仮事務所で 未来研事業として運営	南草津駅前に新拠点移設 (他機能併設)	草津駅にブランチ	